

2026年3月18日

各位

株式会社リボミック  
(コード番号:4591 東証グロース)

## RBM-011(抗Interleukin-21アプタマー)に関する物質特許の 米国における特許査定のお知らせ

当社は、この度、米国に特許出願をしておりました抗interleukin-21(以下、「IL-21」といいます。)アプタマーに関する物質特許について、特許査定を受けましたのでお知らせいたします。

本特許は、IL-21の作用を阻害する開発アプタマー(RBM-011)に関する物質及びその使用に関する技術で、日本を含む複数国に出願しております。

RBM-011は、肺動脈性肺高血圧症(PAH)や自己免疫疾患のモデル動物試験において各疾患に関連する病態指標を改善する効果が認められており、2025年12月11日公表において、日本での特許査定のお知らせをしておりましたが、この度、海外では他国に先がけて米国での特許査定に至りました。

なお、本件による当事業年度の業績に対する影響はございませんが、知的財産権の強化により、企業価値向上に資するものとなります。

### <肺動脈性肺高血圧症>

肺動脈性肺高血圧症(PAH)は肺動脈に狭窄や閉塞が生じることで肺動脈圧が上昇し右心不全に至る指定難病で、世界における患者数は76,600人と推定されています。既存薬は肺動脈平滑筋の弛緩を主作用とするもののみであり、肺動脈の肥厚の抑制を主作用とする治療薬の開発が望まれております。

### <Interleukin-21>

IL-21はT細胞やB細胞を活性化するサイトカインです。自己免疫疾患では炎症や自己抗体産生を促進し病態進展に寄与することが知られています。PAHでも病態悪化に関わる血管リモデリングを進行させることが知られており、IL-21は炎症反応に関わる重要な創薬標的として期待されております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先:財務経理部 <https://www.ribomic.com/contact.php>】